



# 京都版

E-mail:kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel 075-811-3203 Fax 075-811-3213

## “安倍政権の支持率が下がらない不思議”について考える

投稿 橋本安彦(京都平和委員会副会長・舞鶴平和委員会会長)

安倍政権の内閣支持率が下がりません。あんなに悪いことをしているのに何故?という思いをお持ちの会員さんも多いと思います。その何故について皆で考えようと、橋本安彦さんから投稿が寄せられました。全文を掲載することになりました。

私の愛読している「琉球新報」に最近興味深い「論考」を見つけた。大沢真幸氏の本年8月21日付掲載のものである。「戦後最悪の内閣」と多くの識者が指摘しているのに、支持率がそれ程下がらない。この「不思議」について書いてみる。少し長くなるが引用しよう。

「安倍政権を維持している国民心理のメカニズムはこうしたものではないか。」と言う。「言いで得て妙」だと思ふ。さらに言う。「この仮説の傍証と重なる事実もある。『れいわ新撰組』の台頭だ。彼らのインパクトの源泉は主張内容よりも、行動にある。例えば『身障者に優しい社会を』と言っただけではたいしたことにはなかつただろう。」

「比喩で説明しよう。今のあなたは穴だらけのオンボロ船に乗っている。沈むかも知れぬという不安があり、でき

ればこの船を捨てて別の船に移りたい。しかし、別の船はどこにも見えない。こんなとき、あなたは信頼もしていないのに、この船にしがみつくだらう。この船を捨てたら海に溺れて死ぬかもしれないという恐怖があるからだ。」

「安倍政権を維持している国民心理のメカニズムはこうしたものではないか。」と言う。「言いで得て妙」だと思ふ。さらに言う。「この仮説の傍証と重なる事実もある。『れいわ新撰組』の台頭だ。彼らのインパクトの源泉は主張内容よりも、行動にある。例えば『身障者に優しい社会を』と言っただけではたいしたことにはなかつただろう。」

### 内閣支持率 各社の世論調査の動向について

#### 共同通信

10月9日 支持53% (-2.4%)  
不支持34.2% (+8.5%)

#### 時事通信

9月13日 支持43.1% (-3.9%)  
不支持34.1% (+3.3%)

括弧内は前回調査

## 平和の仲間を増やして、第70回定期大会の成功を！ 700名の峰実現を

今月の仲間増やしの経験 ●9月27日に開催された「前進座」の芝居「ちひろ」の公演会場で、京都原水協、安保放棄京都実行委員会合同で「いわさきちひろカレンダー」販売に取り組みました。芝居観劇に訪れた、ある行政区の市民アクションで憲法署名で頑張っている知り合いの元教員に声をかけて、すぐに入会してもらい、「平和新聞」も購読してもらおうことになりました。 ●平和委員会の事務所の2軒隣のある団体の顔見知りの方に声をかけたら二つ返事で「わかりました。」との嬉しい返事。これで入会1名、「平和新聞」1部拡大。拡大対象者はどこにでも、カバンの中にはいつでも見本紙と入会案内を。思い出したらすぐ声掛けを！

### 平和の風

▼8月15日、毎年全国戦没者追悼式が日本武道館で行われ、今年も新しい天皇・皇后の初出席のもとに実施された。追悼の対象は第二次世界大戦の戦死者(軍人・軍属約230万人と空襲等で死亡した一般市民約80万人)の約310万人とされている。それはそれでよしとしながらも、一方でアジア太平洋戦争で犠牲となったアジアの国々の2,000万人にものぼる人々への追悼はどうなっているのか、と思ってしまう。日本が他国の領土に土足で踏み入り、主権を奪い、虐殺を繰り返して15年に及んだ日本の侵略戦争が奪った命ではないか。日本政府にとっても、私たち日本人一人ひとりにとっては、8月15日は決して忘れてはならない日、アジアの国々、人々に対する慰霊と謝罪と償いの意思を示す特別の日でなければならぬはずだ。▼9月1日(日)第二次大戦開戦80周年の戦争犠牲者追悼式典でドイツのシュタインマイヤー大統領は「あの戦争はドイツによる犯罪行為だった。その責任について許しを乞いたい。私たちは痛みの歴史を引き継ぐ」と演説し、謝罪した。私たちにこれだけの歴史認識があるだろうか。そのための努力を不断に積み重ねているだろうか。私たちが原爆の惨禍を語る時、核兵器廃絶を訴える時、同時に必ず銘記しなければならぬことだと思ふ。(夕)

# 山科平和委員会 定期総会開催

山科平和委員会は9月22日に定期総会を開催し、40名以上が参加しました。総会に先立ち、小泉親司さんをまねいての学習会を開催しました。以下、総会と学習会と総会の報告です。

小泉親司さんの学習講演会の概要

まず安倍「軍拡」政治と米軍の大増強について

\* 6年連続の5兆円を突破する大軍拡計画

\* 米国の軍需産業の大儲けを保証する「防衛予算」

\* 米軍への思いやり予算も過去最高・3653億円

これらは「本土の沖縄化」をめざす基地増強計画

来年開催されるNPT再検討会議と、ニューヨークでの原水禁世界大会に向けてさらに3000万署名を。

4 原発ゼロをめざして

2022年に山科平和を守る会は創立60周年を迎えます。

学習講演会に続いて定期総会を行いました。

2018年度の取り組みの課題としては、

1 安倍改憲阻止のたたかい、

今年度を安倍9条改憲に終止符を打つ

2 沖縄・新基地建設阻止

つ決定的な年にしましょう

う

2 沖縄・新基地建設阻止のたたかい

このたたかいは、日本の平和と民主主義を守るために重要な意義をもちます。

3 核兵器のない平和な世



縄米軍基地など  
日米地位協定の問題点は  
\* 日本の国家主権を侵害している  
米軍基地、横田エリア

\* レイプ事件、墜落事故など米軍の犯罪を裁けな

い  
\* 米軍の「やりたい放題」の軍事行動を容認

日米地位協定の「抜本的な見直し」運動を

\* 全国知事会決議の画期的内容  
地位協定にメス

\* 日本の主権をとり戻す大義ある運動を

\* 辺野古新基地反対、リーダー  
基地撤去のたたかい

い  
\* 「市民と野党の共闘」を土台に、「基地のなき

平和な沖縄・日本へ」前進を

日韓友好こそ  
平和な時代拓く

原田貞歳  
亀岡平和委員会

8月30日から7日間、「小森陽一さんと訪ねる

サハリン&韓国の旅」があり  
全国から26名が参加。

京都からは、亀岡平和委員会の原田が参加しました。

韓国では「植民地歴史博物館」を訪問。この博物館を運営するNGO団体「民族問題研究所」対

外協力室長を務める金英丸（キム・ヨンファン）さんに1時間わたって話を伺いました。

キムさんは、15年の慰安婦の日韓合意について「安倍首相が朴大統領に電話で謝罪したという

のは謝罪にならない。当事者でもない人（朴大統領）に謝罪して『解決した』という感覚はないと

思う。10億円出したというがお金で決着させようとする感覚自体がおかしい。歴史認識問題であるにもかかわらず、『不可逆的、完全な解決』という言葉が当然のように

使われるというのは、この問題を自分のこととして考えていない証拠だ」と批判しました。

そして、「韓国の人がなぜこれほど怒るのか考えてみると、昔とは違う

経済的に上だったが、今の韓国の若者にはそんな意識がまったくない。その代わり過去の歴史によ

る日本に対する偏見も強い。そんな彼らがなぜ怒るのか、それは日本に無視されていると思うからだ。若者世代は敏感だ。

外務大臣が韓国大使を呼びつけ『無礼もの』と叱ったことなどに驚いている。今回の一連の騒動をきっかけに若者が歴史問題に向き合うことになったと思う」と述べました。

最後に「日韓は良い関係だったが、いまはあからさまにヘイトスピーチがなされ、愛知（トリエンナーレ）の事件は特に危ないと思う。日韓の対立を煽る悪意に満ちた報道が流れている。韓国の保守メディアとのつながりも感じる。韓国のデモを『反日デモ』と簡単に片づけてはいけない。日本メディアの罪は大きい。日本社会が批判する先は韓国ではなく安倍政権ではないか。ナシヨナリズムを国内政治に利用する

といつか問題になる。それほど市民の意識はバカでないということ。日本の社会に訴えたい。今、韓国に来て危ないというのは一切ない」（笑い）。